

会 議 録

名 称	第4回坂戸市事務事業外部評価委員会
開催日時	令和4年10月25日(火) 午前9時 開会 午後10時50分 閉会
開催場所	本庁舎 3階 303会議室・304会議室
出席者の氏名	小林 哲也 浅海 弘和 渡辺 茂夫 後藤 昭二 齊藤 多美恵 長島 裕
欠席者の氏名	無し
事務局職員 の職・氏名	総合政策部 次長兼企画調整幹兼政策企画課長 本多 崇 政策企画課 副課長 山崎 憲次郎 主任 野澤 篤 主任 木村 貴浩
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議事項 評価結果のまとめについて 4 その他 5 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・評価用シート(6事業分) ・議会評価報告書(抜粋) ・資料1 三次評価対象事業及び今後のスケジュール ・資料2 事務事業外部評価の答申書及び報告書の提出について

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
事務局	<p>1 開 会</p> <p>ただいまから、第4回坂戸市事務事業外部評価委員会を開会する。現在の委員出席者6名。定足数に達しており、本委員会は成立した。</p> <p>また、本会議は公開で行うものである。</p>
委員長	<p>【傍聴者の確認】</p> <p>今回は2名の傍聴希望者がいる。委員の皆様には入室を御了承いただけるか。</p> <p>(一同了承、傍聴者入室)</p>
委員長	<p>2 挨拶</p> <p>本日は、事業ごとに評価内容をまとめる。限られた時間であるがよろしく願います。</p>
事務局	<p>3 協議事項</p> <p>(1) 評価結果のまとめについて</p> <p>前回の議論内容をまとめた評価シートについて事前に各委員に確認いただいたが、本日の前半は班ごとに最終確認を行い、後半は委員会全体で全6事業の評価結果の確認を行う。</p>
委員長	<p>※質疑応答：特になし</p> <p>それでは、これから2班に分かれて、評価の最終確認を行う。</p> <p>A班は303会議室で、B班は304会議室で作業をお願いします。</p> <p>※班ごとに、各事業の評価の論点整理、文章表現の修正等を行った。</p> <p>A班</p> <p>会場：303会議室 評価委員：小林委員長、浅海委員、後藤委員 事務局：山崎副課長、野澤主任 評価事業：①ホームページ運営事業 ②移住定住促進事業 ③消費生活推進事業</p> <p>B班</p> <p>会場：304会議室 評価委員：渡辺副委員長、齊藤委員、長島委員 事務局：本多課長、木村主任 評価事業：①児童センター講座等開催事業 ②観光振興事業</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
委員長	<p>③地域公共交通運行事業</p> <p>※各班終了後、合流。</p> <p>概ね意見が整ったようなので、これから各班の意見を全体で確認していきたい。</p> <p>※以降、委員長の進行により、委員全員で評価内容の確認を行った。</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>■ホームページ運営事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ担当となった職員に対し、動画による研修等を行い、スムーズに運用できるように支援している。 ・事業者からのバナー広告収入を事業費の一部として見込んでいる。 ・災害時などに負荷を軽減する対応を行うことで、必要な時にアクセスできる対応をとっている。 <p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バナー広告が見えにくい位置にあるため、事業者は広告効果を感じられず、利用者は使いづらくなっている。 ・「さかろんに質問する」という検索ボタンの位置が分かりづらい。 ・災害時などの緊急時用マニュアルが作成されているか不明である。 ・これまでのホームページやシステムで生じた問題や課題について、具体化・可視化する対応をしていない。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バナー広告の配置場所を、トップ画面の上段やサイドに配置するなど、事業者にメリットを感じてもらえるよう工夫が必要。 ・検索ボタンの設置位置を見直し、利用頻度を上げて、Ai チャットボットの検索精度を高める。 ・緊急時用マニュアルを作成する。 ・次期システムの構築に向け、情報の収集、課題整理を行う。 <p>■移住定住促進事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚新生活支援事業は、結婚を前提とした若い世代への支援策であり、市外から本市に転入される方に対し、一定の条件のもと経済的負担軽減を行うことで、移住定住を促進させる意義はある。 ・移住定住者に関して促進リーフレットを作成し情報提供を行おうとしている。 <p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県のフォーマットで検証をしており、市の独自性がなく、市の実態が

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
	<p>捉えきれていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者や若い世代に対して情報が浸透しておらず、結婚される方で市外から住民票を移される方へ、この周知方法とあわせ情報提供量が少ない。 ・目的や目標が類似した事業があり、内容の整理が不十分である。(シテイプロモーション推進事業) <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸市独自のフォーマットで実態に合った検証を行う。 ・自身がこの補助金対象者か否かイエス・ノーで簡単に判断できるような「フローチャート」のパンフレットを作り、PRを積極的に行う。 ・それぞれの事業内容を統合や整理することで、区別を明確にし、効率的に事務が執行できるよう検討する。 <p>■消費生活推進事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日を週4日から5日に増やすなど、相談数や相談日の増加は市民ニーズに対応したものと考えられる。 ・消費者生活講座等で啓蒙活動をして対策を図っている。 ・消費生活相談の資格等を持った専門的な見識を持った相談員が対応している。 ・メッセージ機能付き自動販売機にテロップを掲載するなど、庁内で連携して情報提供している。 <p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール・オンラインでの相談がまだ出来ていない。 ・コロナ禍での事業の縮小に対して代替事業が行われていない。 ・近隣市町村との情報共有や比較検討が行われていない。 ・メッセージ機能付き自動販売機で流される情報を見たことがあるかどうかなどの情報を収集しておらず、実態を把握していない。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談のメールやオンラインでの対応を検討する。 ・コロナ禍でのオンライン講座や動画配信などの代替事業を模索する。 ・近隣市町村との比較検討を行うとともに、情報を共有する。 ・メッセージ機能付き自動販売機で流される情報に対する市民の反応を収集し、改善につながる方法を検討する。 <p>■児童センター講座等開催事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂戸児童センターのプラネタリウムを含め、市内各地域に児童センターが設置されており、様々な地域の住民が利用できる。 ・保護者同士が仲良くなり、コミュニケーションを図ることができる場になっている。また、乳幼児向けの魅力的な体験講座等が開催されており、保護者にとって、子育てメニューを手軽に体験することができる貴

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
事務局	<p>重な場となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にとって、大人の目が届く範囲で安心して遊ぶことができる場所になっている。 <p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の制約がある中で、事業内容が前例踏襲になりがちであり、児童センターごとのオリジナリティーが十分に発揮されていない。 ・事業の評価指標が、単に講座等の実施回数や利用者の延べ人数となっていて、学童・保育園・幼稚園など他の子育て支援施設との関係において児童センターの目標・目的が明確になっていない。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校以下で利用した子ども達が中高生になり、ボランティアとして運営に参加してもらえるような雰囲気を作るなど、より魅力的な事業展開を図る。 ・正味利用者数のデータを収集・分析し、新たな指標を設定することで、子育て支援施設としての運営の意図と目標を明確にする。
事務局	<p>■観光振興事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源が乏しい中で、観光ガイドマップ等の発行・更新を行い、観光に関するPRを実施している。 ・「にっさい桜まつり」は、多くの観光客を集めるイベントに成長している。 <p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等を実施し誘致した観光客がお金を使うことのできる観光スポットが分散しており、地域を活性化させる効果が薄い。 ・実施するイベントが単発的で、有機的に連携されていない。 ・「観光客を増やすこと」が目的になっており、地域の活性化にどの程度寄与したか具体的な指標が無い。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の消費行動が集約される場所を作ることを検討する。 ・観光産業を統括する、また、来訪者が一元的に問合せできるような窓口となる組織を作ることを検討する。 ・単に観光客を増やすことを目的にせず、いかに観光客に市内で消費してもらうかを考え、成果を数値化し目標の達成度合いを検証できる指標を設定。 <p>■地域公共交通運行事業</p> <p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の交通弱者に対する外出支援となっており、市内の交通手段として定着している。 ・近隣市町との相互乗入れが実施されており、利便性に対する取組も行われている。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
	<p>【悪い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費が平成 26 年度比で約 1.5 倍と規模が大きくなっている。 ・ 平日と休日のバス利用者数に大きな差がある。 <p>【改善案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会等事業を検証する組織を設け、コストの削減や、サービス内容等を総合的に検討する。 ・ 平日と休日のダイヤの一層の差別化について検討する。 <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ※資料 1 により今後の流れについて説明 ※次回の第 5 回委員会の日程調整 (調整の結果、次のとおり決定) 令和 5 年 3 月 1 4 日 (火) 午前 9 時 3 0 分 ※資料 2 により市長への答申書及び報告書の提出について説明 <p>5 閉会</p> <p>以上をもって、第 4 回坂戸市事務事業外部評価委員会を終了する。</p>